

平成23年度 神戸電鉄栗生線活性化協議会 歳入・歳出予算（案）  
（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

## 歳入

(単位：円)

科 目	平成23年度 予 算 額	平成22年度 予 算 額	備 考
1 負担金	47,935,440	35,411,882	負担金 (運営費 599,010 円、事業費 47,336,430 円)
2 補助金	47,335,000	34,911,905	国庫補助（地域公共交通活性化・再生総合事業費補助）
3 繰越金	990	24	
4 諸収入	—	—	
合 計	95,271,430	70,323,811	

## 歳出

(単位：円)

科 目	平成23年度 予 算 額	平成22年度 予 算 額	備 考
1 運営費	600,000	500,000	協議会 5 回開催予定
1 会議費	540,000	440,000	委員報酬、資料印刷費、食糧費等 通信費、事務用消耗品費等
2 事務費	60,000	60,000	
2 事業費	94,671,430	69,823,811	地域公共交通確保維持改善事業
3 返還金	—	—	
4 予備費	—	—	
合 計	95,271,430	70,323,811	

## 平成23年度 神戸電鉄粟生線 地域公共交通活性化・再生総合事業計画

	事業計画における事業名称	連携計画の方針・事業番号	平成23年度事業計画のメニュー	事業の概要	具体施策 (赤字は着手済の施策)	23年度 計画 事業費 (百万円)
1	企画きっぷ、割引制度等の充実と効果的なPR活動	方針1-①	企画きっぷの充実と効果的なPR活動	企画乗車券の効果的なPRを行い、潜在的な利用者の掘り起こしを図る。	シニアパス等の企画乗車券のPR (チラシ・ポスター等)	1
2	接客サービスの向上および利用しやすい駅・快適な駅づくり	方針1-⑤	利用しやすい駅・快適な駅づくり (駅周辺の待合環境整備など)	駅での快適な待合環境の整備や企画乗車券の常時販売、タイムリーな情報提供等による利便性向上を図り、利用しやすい駅周辺環境を整備する。	企画乗車券販売機の増設(2箇所程度検討) 駅植栽による美観向上(3箇所程度検討) PR放送設備改良による各種情報の提供 構外市民トイレの検討 など	25
3	駐停車エリア、駐車場、駐輪場の整備および駅情報・運行情報等の発信	方針2-①	パークアンドライド促進	自動車アクセスによる鉄道利用者を確保し、潜在需要の掘り起こしと、現行の駅勢圏の拡大による粟生線の利用者増を図る。	小野駅P&R駐車場(月極)増設 時間貸P&R駐車場整備 キス&ライドスペース整備等	14
4			サイクルアンドライド促進	駐輪場に屋根を設置して、自転車等で来駅する周辺地域からの利用者の利便性向上による利用促進を図る。	駐輪場屋根の整備(4箇所程度)	
5	バスとの効果的な接続	方針2-②	接続バス情報の提供	駅と周辺施設や住宅地を結ぶアクセスバス路線について、路線図や時刻表等の情報掲示板の設置など、バスと鉄道の一貫した輸送サービスの提供を図る。	バスアクセスマップ、駅での案内表示等	1
6	小中学校等への粟生線利用の促進と支援	方針3-②	小・中学校校外学習利用促進	粟生駅周辺での農業体験校外学習(田植え、稲刈り等)や、三木山森林公園での自然体験学習プランを企画・実施し、学校団体の利用誘致と公共交通利用啓発を図る。	粟生農業体験、三木山森林公園への校外学習企画の提供・PR	1
7	地域間の各イベントとの連携強化	方針3-③	沿線イベントへの公共交通利用促進 (沿線イベントへの旅客誘致)	粟生線沿線の祭りなどの集客イベントに合わせて、公共交通利用を促すPRや新規企画乗車券の発売、キャラクターを活用した利用促進PRキャンペーン等を実施する。	三木金物まつり、小野まつり等での 利用啓発イベントや誘致PR ミニトレイン製作による沿線催事への誘致 加古川線と連携した利用促進イベント等	5
8	沿線地域における観光資源の魅力的な活用	方針3-④	沿線観光資源を活用した利用促進イベントや 情報提供	粟生線沿線の社寺仏閣や公園・温泉・文化施設等の観光資源の魅力を伝えるとともに、併せて、それらを鉄道で巡るスタンプラリー等のイベントを実施し、観光利用者の増加を図る。	スタンプラリーの実施(夏・秋) 駅周辺の観光・ハイキング案内看板	10
9	魅力的な車窓からの景観づくり	方針3-⑤	沿線の景観・名所づくり	「粟生線フラワーライン計画」として沿線での花や緑による植栽を進め、地域イベントとも連携して沿線の話づくりと地域間の移動や来訪者の誘致促進を図る。	葉多駅周辺の菜の花畑植栽 木津付近の桜植樹 見津車庫内の植栽整備など	2
10	鉄道に関するイベントの開催	方針3-⑥	鉄道関連イベントの開催 (利用者交流イベントの開催)	「トレインフェスティバル」や「ミステリートレイン」、「ライトレイン」などで利用啓発や地域参加の要素を組み込んだ集客イベントを実施し、効果的な旅客誘致と利用啓発を図る。	トレインフェスティバルや協議会2周年記念イベント の実施 各種イベント列車の運行 ラッピング列車のイベント運用など	11
11	ホームページ等の広報により 粟生線の魅力発信	方針3-⑦	営業情報の提供 (運行情報・沿線情報の発信)	粟生線沿線や神戸方面等のおでかけスポットや、企画きっぷ等の情報や協議会の取り組みを紹介する「おでかけガイド」、「粟生線活性化協議会だより」を制作・配布し、新規利用の誘発を図る。また、ホームページを通じて、域外を含む、より広域からの旅客誘致を図る。	「おでかけガイド」制作・配布 「粟生線活性化協議会だより」の制作・配布 粟生線情報駅掲示板設置	6
12	企業や学校、転入者等に対する モビリティ・マネジメント等の実施	方針4-① 方針4-② 方針4-③	沿線企業・学校・自治体・住民への モビリティ・マネジメント キャラクターを活用した公共交通利用啓発PR 沿線自治体職員等による公共交通利用率先行 活動	沿線住民への公共交通利用情報の提供や、沿線の学校・企業・自治体職員等に粟生線利用促進を訴えかけるツールやプログラムを企画・実施するほか、高齢者向けの乗車券を発売するなどにより、公共交通利用行動を喚起する。 また、利用啓発にあたりシンボルキャラクターを活用した効果的なPRを図る。	沿線住民向けTFPの実施 沿線学校・企業へのモビリティ・マネジメント 粟生線利用促進マップの作成・配布 粟生線活性化シンポジウム開催 利用啓発を呼びかける新聞記事広告 利用啓発パンフレット制作・配布 キャラクターを活用した利用啓発キャンペーンなど	15
13	沿線住民と一体となった 粟生線の活性化とPR	方針6-①	利用者参加による公共交通利用啓発活動	沿線利用者参加によるボランティア活動(駅美化、植栽、利用啓発PR等)を支援するため、活動のための備品等の整備(プランター、清掃用具等)や地域参加の啓発イベント、メッセージ発信等の実施、支援組織としてのサポーターズクラブの設立など、沿線地域のマイルール意識の向上と利用促進を図る。	駅前花壇の整備 七夕列車・クリスマス列車の運行 駅広告看板枠を活用した利用啓発メッセージ発信 サポーターズクラブの設立 など	4

(注1)上記事業計画の現時点での事業費見込みは年間約95百万円。

合計 95

(注2)上記事業による利用者増加への影響として年間推定約20万人。

※ 上記事業の実施・運営については、神戸電鉄の設備や敷地を利用すること、神戸電鉄が従来から行っている事業との整合を図る必要があること、各事業間での調整・連携のため統合的な管理・運営が必要であること等の理由から、原則として協議会から神戸電鉄へ委託するものとします。

※ 上記の事業計画について、事業の実効性の高いものの前倒しや関係先との調整状況により、実施時期や事業の詳細内容について、連携計画の枠組みの中で、見直しを行う場合があります。